



日本共産党 市議会報告

2014年11月3日第 1306号
【発行】
日本共産党浦安市議団
市役所内控え室(議会棟1階)
☎&FAX (350)1243



子育ても老後も安心
住み続けたい浦安を



市議会議員
元木美奈子

入船 4-37-14
☎355-8526
minamonton@
jcom.home.ne.jp



市議会議員
美勢 麻里

北栄 2-3-16-203
☎354-9269
m5mise@jcom.
home.ne.jp

健康遊具

21公園内に98基を設置 日本共産党「さらに増設を」



美浜公園の「サイクル」と「ローリングステップ」

高齢者保健福祉計画を策定するために浦安市が実施した調査では、高齢者の将来に対する不安は「病気になること」「加齢により身体的能力が低下すること」を挙げている方が約6割、健康維持のために

健康づくり に公園の活用を

日本共産党は9月議会一般質問で、大人用健康遊具を公園に増設し、市民の健康づくりの場としてもっと公園を活用するよう求めました。



「運動や毎日の散歩などで体を動かすようにしている」と回答した方は6割を超えています。日本共産党は9月議会でも「こうした高齢者の健康維持、健康増進活動を支援する取り組みは、本市にとって優先的行政課題ではないか」と指摘し、「公園は身近な場所であり、四季折々の自然環境を楽しみながら健康づくりが行える場として、もっと積極的活用を検討すべきではないか」と提案しました。



「日の出おひさま公園の「足踏み遊具」(上の写真)と「背伸ばしベンチ」(下の写真)

	公園数	遊具数	設置公園数
街区公園	106	28	13
近隣公園	11	47	5
総合公園	1	12	1
運動公園	1	8	1
地区公園	3	3	1
緩衝緑地	3	0	0
緑道	17	0	0
	151	98	21

健康遊具の設置状況
(平成26年10月28日現在)

「自治会や利用者の声を聞きながら、遊具の選択、配置にさらに努めていきたい」

都市環境部長

既設遊具の利用 実態の把握を



先の表の「公園数」は平成25年11月末現在の数ですが、すでに、健康遊具は21の公園に98基設置されています。しかし、これらがどの程度利用されているのか、市は把握していない実態が明らかになりました。

利用実態について、都市環境部長は「具体的な利用実態は把握できていない」ことを認めるとともに、「公園の設置要望や大規模改修の際に、(健康遊具を)望む声が現実には多いところからも、また、健康遊具の破損の補修実

績も多くあるところから、利用の需要というものは高いと認識している」などと答えました。

また、「近所の小さな公園でもちよつとした運動ができることは、身体的効果と合わせ、精神的健康も促す効果が期待され、公園が地域交流の拠点になり、スポーツ施設に通わなくても運動を手軽にできる」と指摘し、健康遊具の増設を求めました。

都市環境部長は「各公園の特性をふまえ、その自治会や公園利用者の意見を聞きながら、遊具の選択、配置にさらに努めていきたい」と答えました。

日本共産党は、高齢者の健康づくりで豊富な知識と実績をもつ健康福祉部や生涯学習部などと連携した取り組みが必要であることを指摘し、たとえば介護予防教室などを公園で、健康遊具などを活用した取り組みなども提案しました。

「進捗状況をみて判断する」

する回答をもらい、その回答に対して各議員が、さらに質疑や要望を伝える形で実施されました。

「道路と宅地の一体的 液状化対策事業」 期限延長を求める

浦安市議団の要望事項の一つは、復興交付金事業の「道路と宅地の一体的な液状化対策」について、平成27年度末までに工事完了としている期限の大幅な延長です。

国土交通省の回答が全体の説明では従来と変わっていないため、交渉終了後、改めて担当者に詰め寄り、直に回答を求めました。

国交省都市局都市計画課の課長補佐は「事業は可能な限り進めてください。その進捗状況を見て判断したい」と回答しました。



政府予算の 要望交渉に参加

日本共産党千葉県委員会と国会議員団南関東ブロック千葉事務所は、10月24日、国に対する2015年度予算に関する要望交渉を行いました。この交渉に浦安市議団も参加しました。

交渉は衆議院第一議員会館で行われ、「要望書」を事前に届け、当日は、それに対